



20年度決算審議で感じることは

9月定例会では2020年度（令和2年度）のお金の使い方を検証する決算審議が行なわれていきます。

コロナの影響をうけた昨年度は14回という異例の数の補正が組まれました。賛成した補正も反対した補正もあります。コロナ関連の予算は総額138億円余。（国と県の支出金が約136億円、市の一般財源からは2億余が支出）

そのうち市財源の80%は小中学校にひとり一台のタブレットを貸与するGIGAスクール構想に充てられました。逆に予算が足りないといろいろなものが既決予算から削られました。

敬老会など行事の経費、助成制度の縮小、学校の施設改修や市役所の耐震工事の次年度繰り越し、カット。職員は人勧に基づくボーナスに他市では聞かない管理職手当のダブルカットとなりました。

その一方でデジタル化の推進、マイナンバーカード導入の推進などの予算は増額。

事業者への支援などを行なってきたことは評価しますが、削るべきでない予算を削って、デジタル化等に傾斜した予算付けが本当に妥当であったのかは疑問です。

安全な環境整備を先送りしてタブレット導入するだけでは子どもたちの安全安心は確保できません。むしろ人員配置やゆとりある施設整備、検査の拡大などで普通の生活を送れるための予算配分ができなかったのか。

今一度の検証が必要ではないかと思っています。

表の顔を変えたところで 中身はおなじ

～総裁選挙より総選挙にあたっての各党の政策を報道して下さい～

マスコミは連日、総裁選挙で日本の将来が決まるみたいな報道ですが、立候補者は安倍・菅政権の中心にいた皆さんです。



同じ様な政治を続けるのは間違いありません。9年間の失政を看板の掛け替えで水に流す、なかったことにして政権の延命を図る戦略でしょう。

自党内の内輪の選挙でなく、間近に必ずある総選挙に当たっての政策を論じるべきです。

議院内閣制の日本で、総理は自民党総裁と決まってはいません。

衆議院選挙に立候補する各政党の政策も同様の時間を使ってマスコミは報道してほしいです。



秋の花 シュウメイギク

閣僚辞任や刑事事件に なった自民党国会議員

- ◎小淵優子経産大臣が政治資金疑惑で辞任(2014年10月)
- ◎松島みどり法務大臣が公選法違反疑惑で辞任(2014年10月)
- ◎西川公也農水大臣が献金疑惑で辞任(2015年2月)
- ◎甘利明経済再生担当大臣がロッキン疑惑で辞任(2016年1月)
- ◎菅原一秀経産大臣が公選法違反疑惑で辞任(2019年10月)
- ◎河井克行法務大臣が買収疑惑で辞任(2019年10月)
- ◎秋元司元内閣府副大臣がカジノ汚職で逮捕(2019年12月)
- ◎河井克行元法務大臣・河井案里参議院議員を公選法違反で逮捕(2020年6月)
- ◎吉川貴盛元農水大臣が収賄罪で在宅起訴(2021年1月)

安倍・菅政権の9年間を ふりかえると・・・②

汚職買収・金権腐敗

「政治とカネ」の疑惑で閣僚を辞任したり、刑事責任を問われたりした自民党国会議員は9人にのぼります。

安倍前首相も「桜を見る会」前日に、地元の有権者を招いて開催した前夜祭の会費の不足分を後援会が補填した問題で、捜査対象になっていきます。お金で動く社会に正義はありません。